

特集Ⅰ 2017年日本映画総括

「シネマ游人」が選んだ日本映画ベストワン

作品賞 『あゝ、荒野』

監督賞 岸 善幸 『あゝ、荒野』

主演男優賞 菅田将暉 『あゝ、荒野』『火花』

主演女優賞 満島ひかり 『愚行録』『海辺の生と死』

助演男優賞 ヤン・イクチュン 『あゝ、荒野』

助演女優賞 広瀬すず 『三度目の殺人』

新人賞 木下あかり 『あゝ、荒野』

※次ページ シネマ游人日本映画賞ノミネートベスト3より選出

【総括】

2017年前半の日本映画は低調だったが、後半になって面白くなってきた。資金繰りの難しい昨今の映画界の中で、『バンコクナイト』『いぬむこいり』『あゝ、荒野』の長編大作の相次ぐ出現には正直驚いた。粗削りで、冗長な作品もあったが、既成の映画観にこだわらない果敢な挑戦をよしとしたい。そんな中で、「シネマ游人」は、人間の孤独と愚かさを圧倒的なスペクタクルで見せた『あゝ、荒野』をトップに選んだ。この作品のインパクトがあまりにも大きかったので、監督賞をはじめ他各賞も同作品の出演者がほぼ独占する結果となった。寺山修司の長編を5時間という

壮大な作品に仕上げた岸監督と港ライター2人の腕力に敬意を表したい。他にステップファミリーがその垣根を乗り越えていくプロセスが素晴らしい『幼な子われらに生まれ』。今風の若者の出会いをシニカルに描いた『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』が、ベスト3になった。選外だったが是枝監督の司法への挑戦『三度目の殺人』も私たちの間で議論を呼んだ。(この項特集Ⅱ参照)

主演賞は、八面六臂の活躍の菅田将暉は当然の受賞。『海辺の生と死』の満島ひかりの役への入れ込みは他の追従を許さない。また、昔清纯派、今は熟年女優として激演した『いぬむこいり』の有森也美。『散歩する侵略者』で主婦の爽やかな色気を見せた長澤まさみも見逃せない。

助演賞は『あゝ、荒野』でストイックなボクサー役を怪演したヤン・イクチュン。家族というワクに収まり切れない男を自然体で見せた『幼な子われらに生まれ』の宮藤官九郎。まなざし一つで演技が出来る『三度目の殺人』の広瀬すず。それに『彼女の人生は間違っていない』の瀧内公美の瑞々しい存在感も捨てがたい。新人賞では『あゝ、荒野』の木下あかりがアウトローなヤリマン女を好演。グラマラスな肢体で哀感を漂わせる『光』(大森立嗣)の橋本マナミ、『最低』で見せる知的な色香の森口彩乃『映画 夜空は：』の石橋静河らが目にとまった。今後の活躍に期待しよう。

シネマ游人ノミネートベスト3

シネマ游人は、下記の方々にお願ひし、2017年の日本映画のベスト3を選んでいただいた。この中から編集部でベストワンを選ぶと共に、東京スポーツへ、ノミネートとして提出した。

作品賞 『あゝ、荒野』（岸 善幸）

『幼な子われらに生まれ』（三島有紀子）

『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』（石井裕也）

監督賞 岸 善幸 『あゝ、荒野』

是枝裕和 『三度目の殺人』

河瀬直美 『光』

主演男優賞 菅田将暉 『あゝ、荒野』

浅野忠信 『幼な子われらに生まれ』

永瀬正敏 『光』

主演女優賞 満島ひかり 『愚行録』『海辺の生と死』

有森也美 『いぬむこいり』

長澤まさみ 『散歩する侵略者』『追想』

助演男優賞 ヤン・イクチュン 『あゝ、荒野』

宮藤官九郎 『幼な子われらに生まれ』

役所広司 『三度目の殺人』『関ヶ原』

助演女優賞

広瀬すず 『三度目の殺人』

瀧内公美 『彼女の人生は間違いじゃない』

安藤サクラ 『DESTINY 鎌倉ものがたり』『追想』

新人賞 木下あかり 『あゝ、荒野』

橋本マナミ 『光』（大森立嗣）

石橋静河 『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』

【ノミネート依頼者】

井上静夫 同人誌主宰

太田義幸 通りすがりの映画好き

木村直史 三重映画フェスティバル

田中 忍 三重映画フェスティバル会長

東郷勇次 専業主夫

西松 優 日本映画研究者

安井 文 謎の美女

水野圭次郎 桑名むぎのえいが部

森松千恵 三重映画フェスティバル

池村英子 津のナチュラリスト

藤田 明 映画評論家

【スタッフ】

中村藤生、林 久登

森 次男、村上 暁

2017年日本映画受賞一覧

東京スポーツ映画大賞

作品賞 『アウトレイジ 最終章』
 監督賞 北野武『アウトレイジ 最終章』
 主演男優賞 西田敏行『アウトレイジ 最終章』
 塩見三省『アウトレイジ 最終章』
 主演女優賞 長澤まさみ『散歩する侵略者』
 助演男優賞 大杉漣、大森南朋、ピエール瀧
 松重豊、金田時男、以上『アウトレイジ 最終章』
 助演女優賞 広瀬すず、斎藤由貴『三度目の殺人』
 新人賞 金田時男『アウトレイジ 最終章』

東京スポーツ映画大賞とは

「シネマ游人」は、東スポ映画賞のノミネート委員になっている。毎年、その年一年間の優秀作品、俳優を、各3位までノミネートし、東京スポーツに提出。全国11の映画祭が選んだ対象と合わせ、審査委員長のビート・たけしにより大賞を決定している。選出方法が他と違って合議制でなく、たけしの好みに左右されるエンターテインメント色の濃い映画賞である。

キネマ旬報賞

作品賞 ①『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』
 ②『花筐』
 ③『あゝ、荒野』
 監督賞 大林宣彦『花筐』
 主演男優賞 菅田将暉『あゝ、荒野』
 主演女優賞 蒼井優『彼女がその名を知らない鳥たち』
 助演男優賞 ヤン・イクチュン『あゝ、荒野』
 助演女優賞 田中麗奈『幼な子われらに生まれ』
 新人賞 石橋静河『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』
 山田涼介『ナミヤ雑貨店の奇蹟』

毎日映画コンクール

日本映画大賞 『花筐』
 日本映画優秀賞 『あゝ、荒野』
 監督賞 富田克也『バンコクナイツ』
 主演男優賞 菅田将暉『あゝ、荒野』
 主演女優賞 長澤まさみ『散歩する侵略者』
 助演男優賞 役所広司『三度目の殺人』
 助演女優賞 田中麗奈『幼な子われらに生まれ』
 新人賞 高杉真宙『散歩する侵略者』
 伊藤蒼『島々清しや』

報知映画賞

作品賞 『あゝ、荒野』
 監督賞 三島有紀子『幼な子われらに生まれ』
 主演男優賞 菅田将暉『あゝ、荒野』
 主演女優賞 蒼井優『彼女がその名を知らない鳥たち』
 助演男優賞 役所広司『三度目の殺人』『関ヶ原』
 助演女優賞 田中麗奈『幼な子われらに生まれ』
 新人賞 浜辺美波『君の膵臓をたべたい』

ヨコハマ映画祭

作品賞 ①『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』
 ②『幼な子われらに生まれ』
 ③『彼女がその名を知らない鳥たち』
 監督賞 白石和彌『彼女がその名を知らない鳥たち』
 主演男優賞 池松壮亮『映画 夜空はいつも最高密度の…』
 主演女優賞 蒼井優『彼女がその名を知らない鳥たち』
 助演男優賞 塩見三省『アウトレイジ 最終章』
 助演女優賞 臼田あさ美(愚行録)、松本若葉(同)
 新人賞 石橋静河『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』
 岸井ゆきの『おじいちゃん、死んじゃったって』
 ベスト3作品

映画芸術

①『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』
 ②『幼な子われらに生まれ』
 ③『バンコクナイツ』

第27回東スポ映画大賞

授賞式に出席して

森 次男 スタッフ

日時・2月25日

会場・東京港区グランドプリンスホテル

日頃の心がけに反してこの授賞式の日は毎年暖かい日に恵まれる。私の到着と同時に女優の長澤まさみがホテルロビーに到着した。どこまでついているのだろう。タキシード、帽子、蝶ネクタイのおかげで事務所関係者にも警戒されず、そのまま授賞式の控え室まで通していただいた。と思いきや、なんとノミネート委員も今年から授賞者と同じ控え室なのだ。次に現れたのは『三度の殺人』のメガホンをとった是枝監督である。彼はこの授賞式の常連で、こちらもつい「監督！お疲れさまです」と気さくに声をかけてしまうのである。今回は助演女優賞の斉藤由貴の代理での登壇だ。

授賞式はたけしが監督を務めた『アウトレイジ最終章』が監督賞、作品賞、主演男優賞、助演男優賞、新人賞の五冠を達成した。しかし、助演男優賞決定後の2月21日に急逝した大杉漣（享年66歳）に話が及ぶと、勢揃いした『アウトレイジ』俳優陣は「さらば漣さん」と鎮魂メッセージを寄せた。本来なら暗くなりがちな場面だが、主演男優賞の西田敏行が「漣ちゃん、すいません。

あなたがずっと出ていた北野武映画に、このまま私がスライドするのとなりました」とユーモアをこめて挨拶を締め会場を湧かせた。

また今回の授賞式の中で会場が一番、どよめ

いたのが「話題賞」を受賞した国民的アイドル元S.M.A.P・香取慎吾のサプライズ登壇だ。東スポ紙と「水と油の関係」であるジャニーズ事務所所属時代には到底考えられなかった歴史的な場面を見る事ができた。これは昨年11月にインターネットテレビ局AbemaTVの特番「72時間ホンネテレビ」の活動がたけしに高く評価されての受賞である。香取は、稲垣、草薙の3人が出演するオムニバス映画『クソ野郎と美しき世界』（今年の4月6日公開予定）で、次回の東スポ映画大賞の獲得に意欲を見せた。

最後にたけしは日本アカデミー賞が大手映画会社持ち回りであることをチクリ。今回は審査員の審査通りに各賞を決めたそう、今年の邦画は不作だから『アウトレイジ』が総ナメしたことを説明。そして、この東スポ映画大賞が年々華やかになっていることを喜んだ。



会場入り口にて